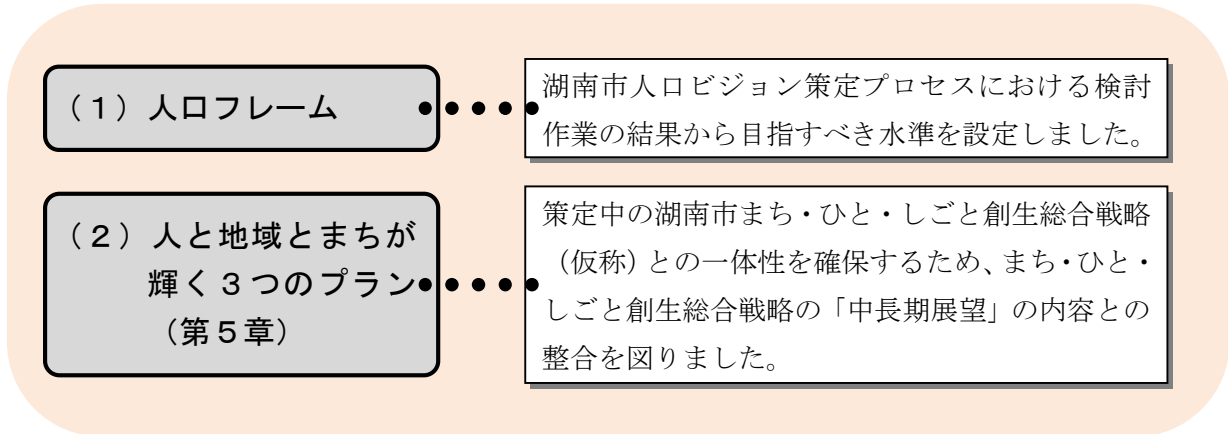


第2次湖南省総合計画基本構想（案）の見直しのポイント

第3回審議会で提示した基本構想（案）から以下の点を見直ししています。



※上記の他、審議会でのご意見の反映に伴う見直しも行っています。

■見直しの考え方

(1) 人口フレーム（基本構想 40 ページ～42 ページ）

【このままの趨勢では人口が急激に減少】

我が国は既に人口減少社会に移行しており、国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2040年には、ピークであった2010年から32%減少する見通しです。

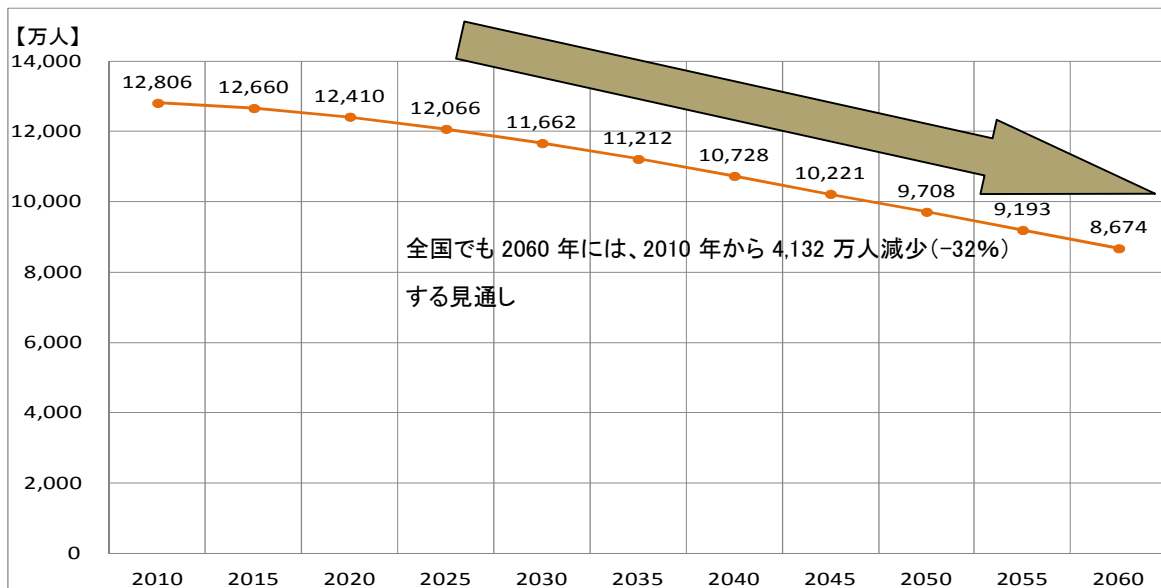


図 日本の将来人口の見通し 資料) 国立社会保障・人口問題研究所

国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠する方式で実施した湖南省の将来人口推計によると、湖南省の人口は、2010年をピークに既に減り始め、2060年には2010年よりも20,000人以上減少（-37%）する見通しです。

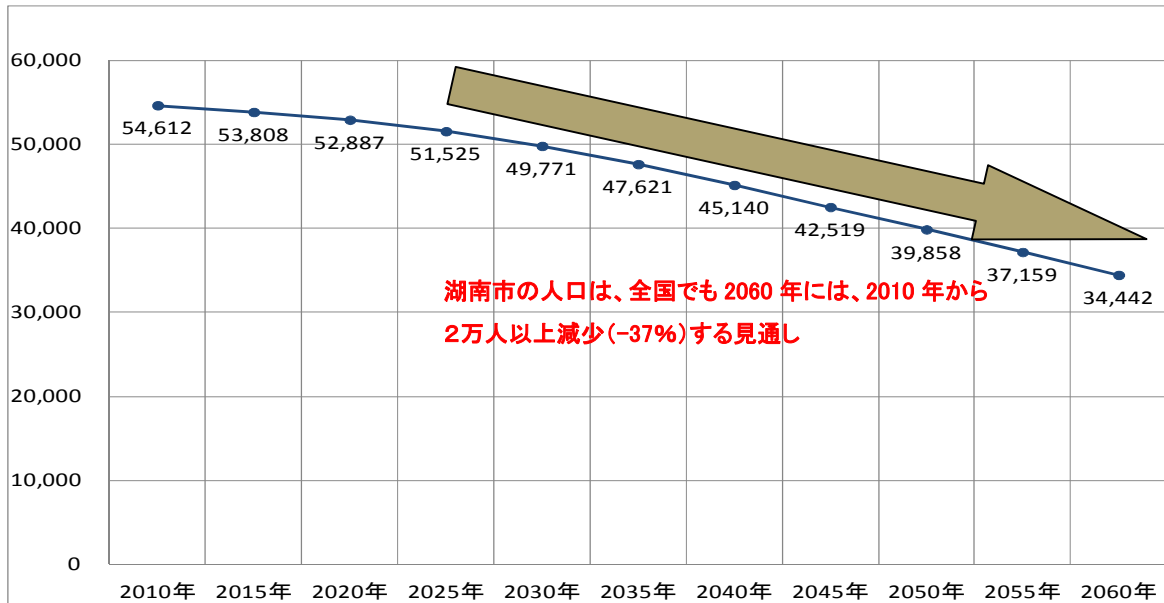


図 湖南省の将来人口の見通し 資料) 内閣府 (国立社会保障・人口問題研究所準拠方式)

【人口減少が社会に及ぼす影響】

これまでのまちづくりや社会制度は、人口が増加する社会を前提に考えられており、急激な人口減少が起きれば、様々な面で対応することが困難となります。

～人口減少が湖南省に及ぼす影響の例～

- 市内の消費の縮小
- 学校の児童数の減少、空き教室の増加
- 空き家、空き地の増加
- 耕作放棄地や管理放棄山林の増加
- 地域コミュニティの弱体化
- 一人世帯の増加、無縁社会の深刻化
- 税収の減少、行政サービスの低下、公共施設の統廃合

これらの人口減少による影響は、市内で一様に発生するのではなく、条件が不利な地域や、一見、有利に見えても課題に無関心な地域などから、まだら模様が発生していき、湖南省全体の活力を削ぐ重大な課題となります。

【長期的目標と10年後の目標】

長期的将来である2060年には、2010年の人口規模から1割程度の減少にとどめることをめざすこととし、そのために速やかに総合的な人口減少対策に取り組むことにより、出生数の回復、社会動態の転入超過状態の回復を図り、10年後の2025年には、現状の人口規模を維持することをめざします。

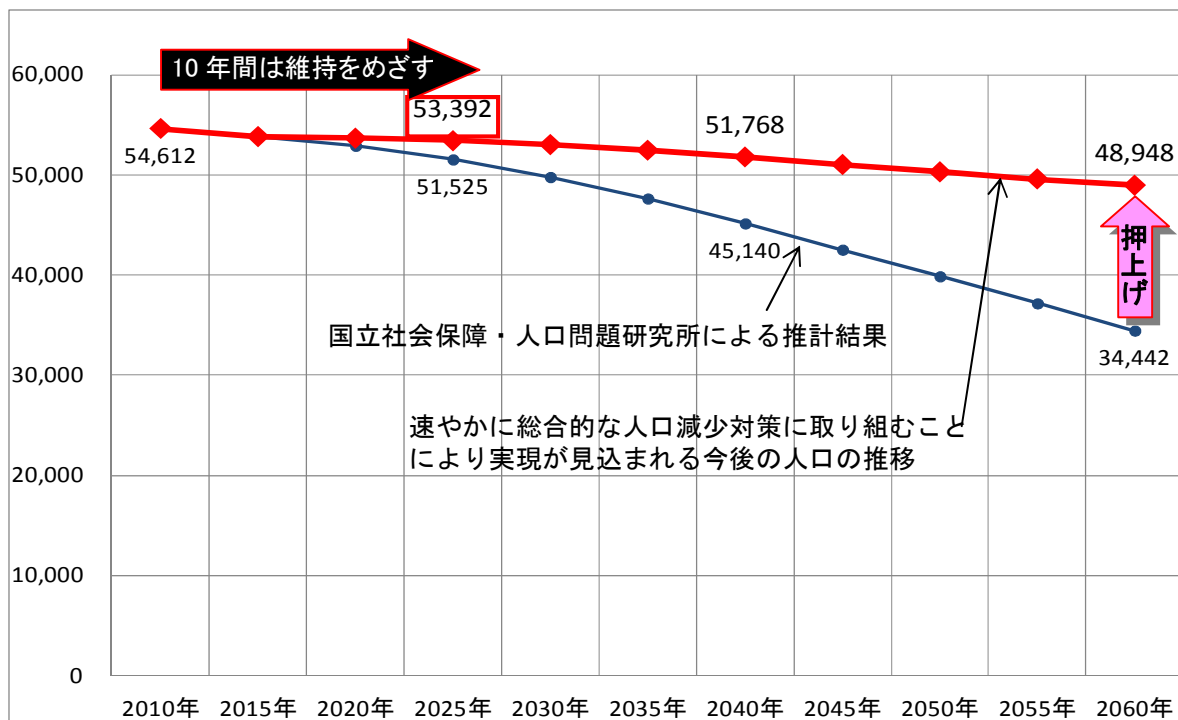
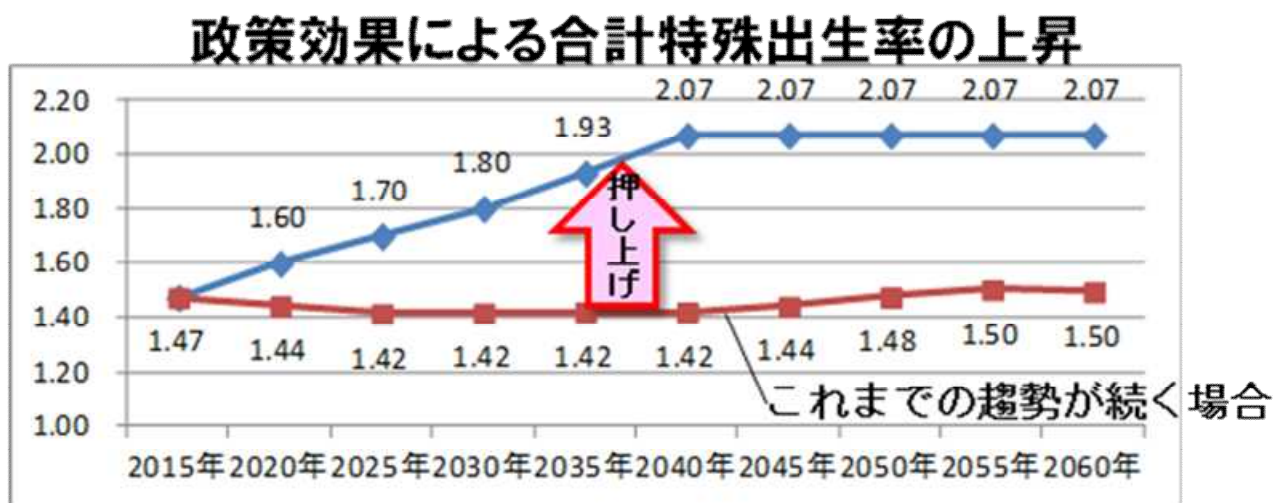


図 湖南省の将来人口の見通しと目標

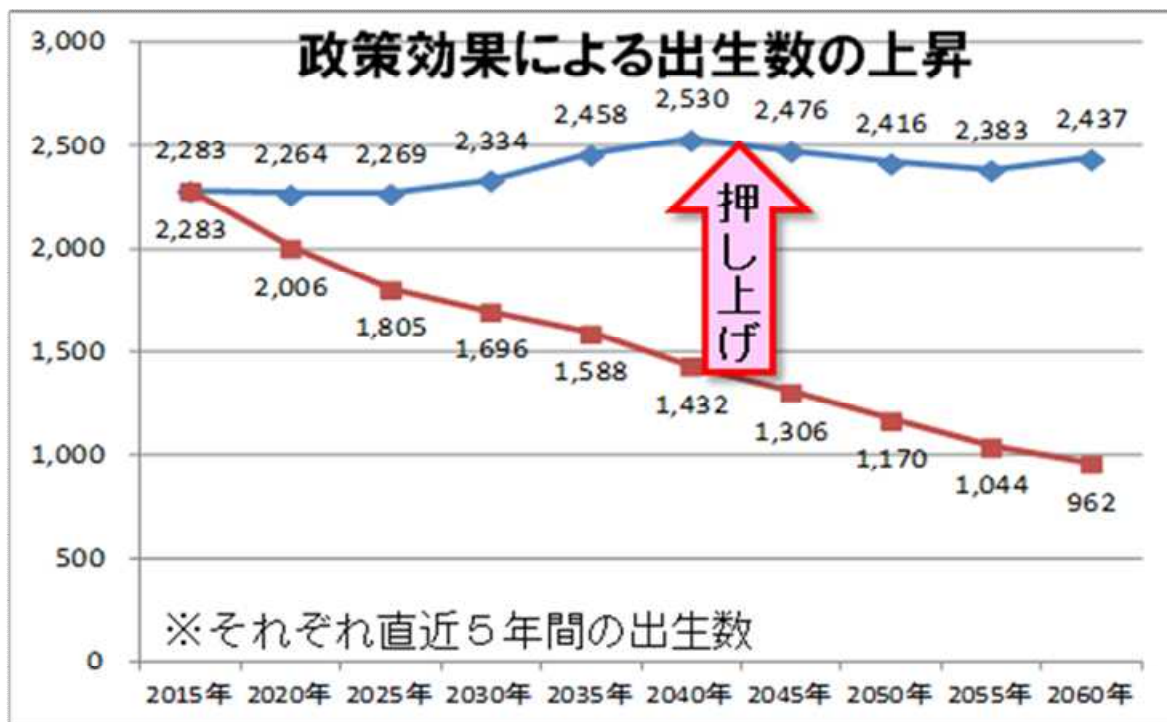
【合計特殊出生率と社会移動の目標値】

●合計特殊出生率は2030年に1.80、2040年に2.07へ回復

出生に関する指標は、政府が掲げる目標と整合を図り、2030年に1.80、2040年に2.07（人口置換水準）への回復を目指します。



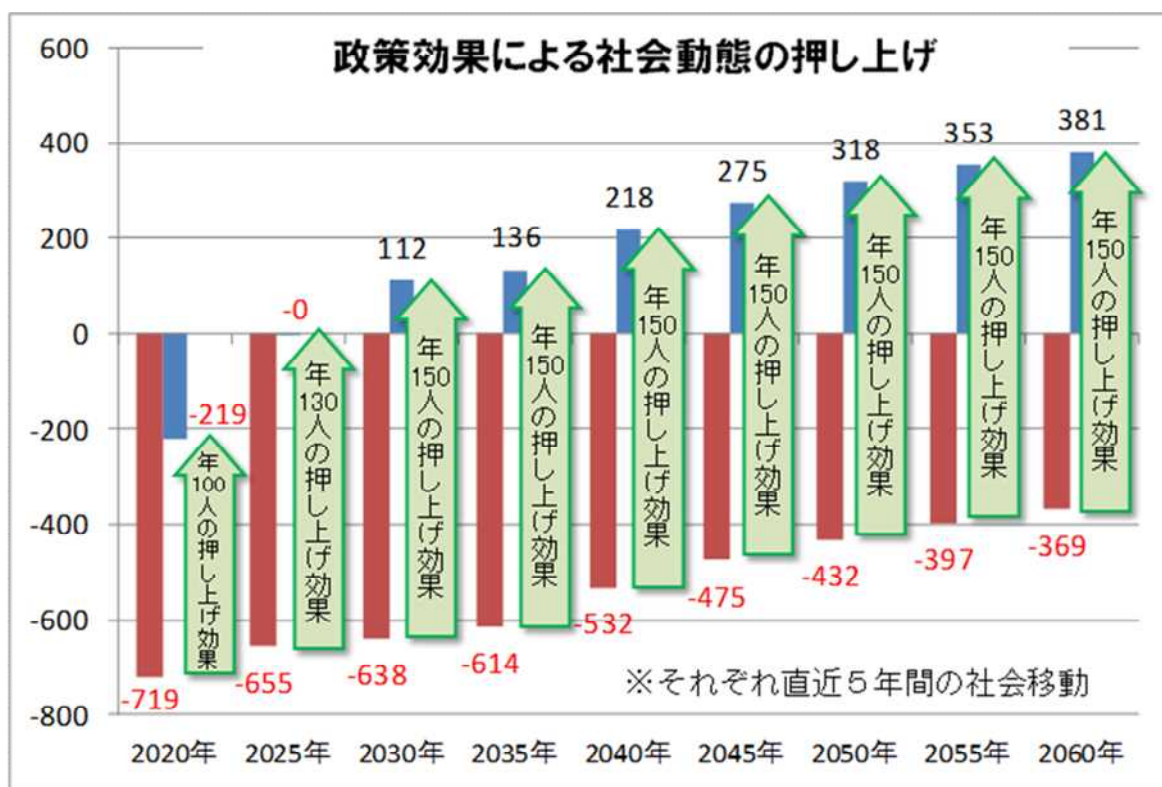
出生数に換算すると、今後、母親世代が減少するにも関わらず、2025年までは現状水準の出生数が維持され、その後、2040年までは増加し、以降も現状よりも多い水準で推移することとなります。



●社会移動は2025年までに均衡し、その後、転入超過が拡大

政策努力による効果として2020年までは100人/年水準、その後2025年までの5年間は130人/年が顕れることを目指します。

その結果、社会動態は、2025年までに均衡、2030年以降は転入超過が拡大します。



【目標人口実現のために】

まちの将来像「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろう きらめき湖南」の実現をめざすことは、湖南省への愛着と誇りを抱きながら、湖南省で暮らすことで味わえる豊かさや幸福感を実感できるまちづくりを進めることであり、とりもなおさず、急激な人口減少、少子高齢化を防ぎ、現状の人口規模を維持するとともに、中長期的に若々しさを保つことにつながります。

長らく少子化傾向が続いてきたことから、今後、次世代を育むことになる世代の人口は年々減少していくこととなります。人口減少対策の取り組みが遅れば遅れるほど、長期的将来の人口は大幅に減少することとなります。

このため、本計画と同時に策定する「湖南省まち・ひと・しごと創生総合戦略」との連携により、可及的速やかに総合的な人口減少対策に取り組みます。

～人口規模の維持に必要な取り組み～

- 出生率の水準を高めること（次世代を担う子供が増えること）
⇒出産・子育て支援
- 安定的に転入超過であること（転出をおさえて、長く転入超過であること）
⇒観光交流活性化、ブランド向上などによる域内経済循環の活発化、雇用の増加の着実な持続

(2) 人と地域とまちが輝く3つのプラン (第5章)

(基本構想 47 ページ～53 ページ)

【国を挙げて人口減少対策に注力】

政府は、少子高齢化の進展に的確に対応し、今後の急激な人口減少に歯止めをかけるため、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、国・地方公共団体・事業者が相互に連携、協力して、関連施策を総合的かつ計画的に実施することを示しています。

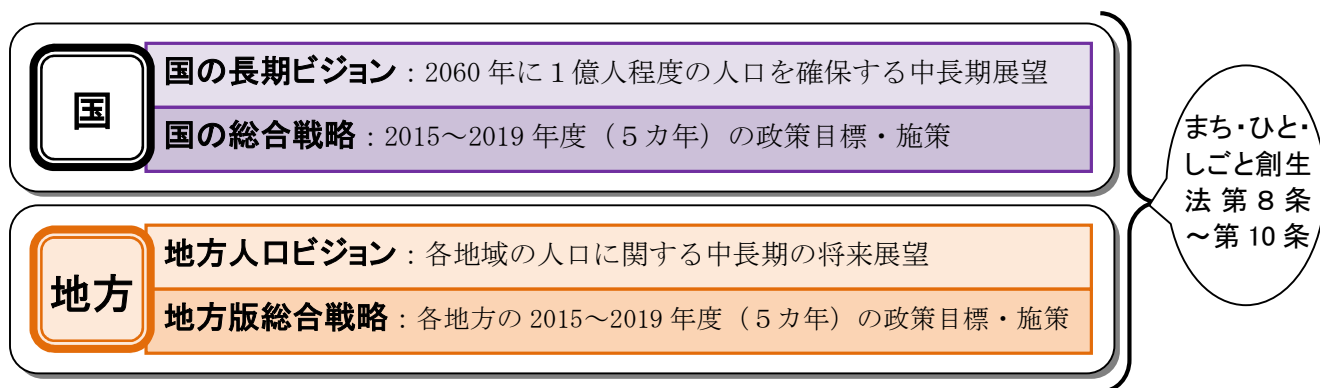


図 まち・ひと・しごと創生法における長期ビジョン、総合戦略等の位置づけ

国の「長期ビジョン」、「総合戦略」の全体像の概要は以下の通りです。

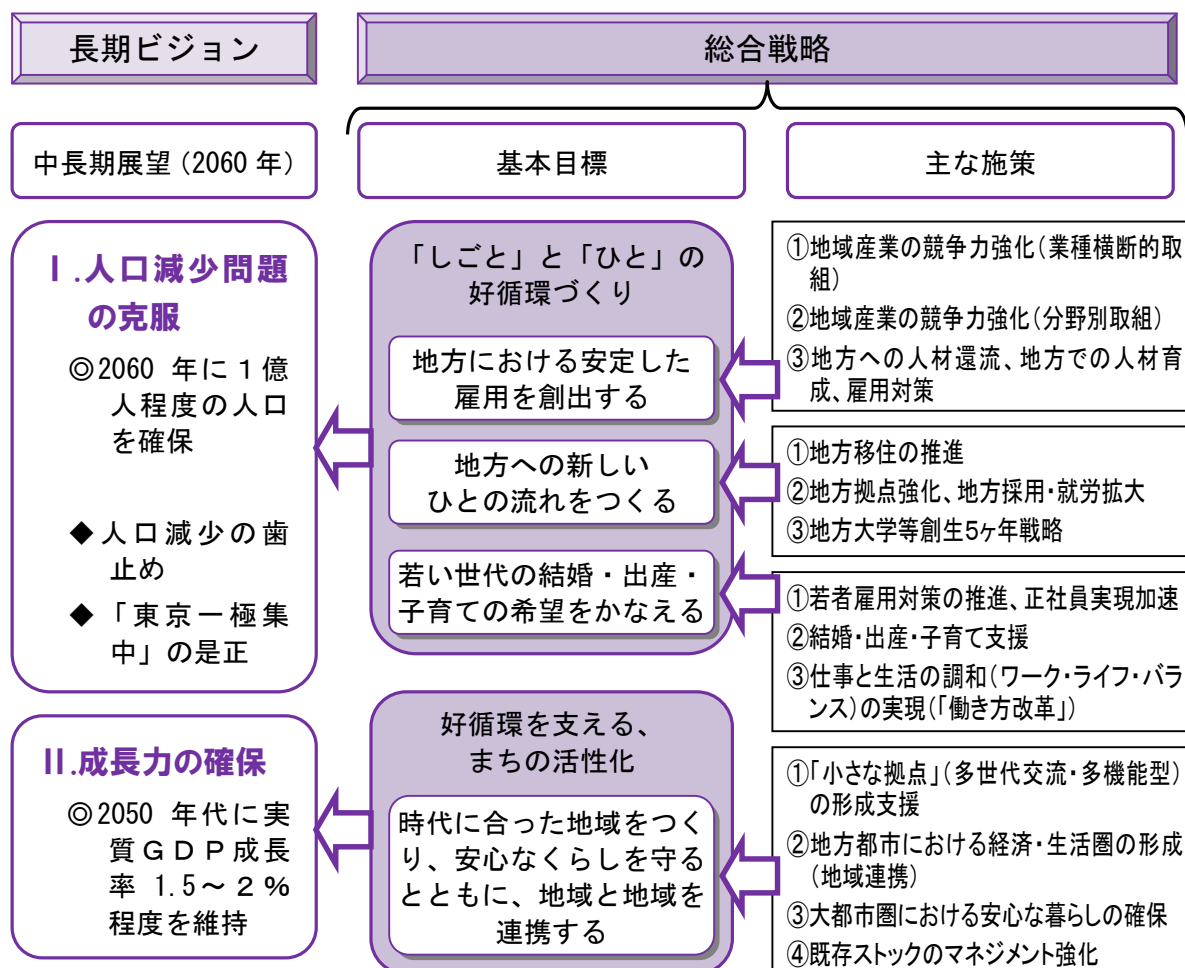


図 国の「長期ビジョン」、「総合戦略」の全体像の概要

【湖南省まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）を策定中】

湖南省においても現在、第2次湖南省総合計画の策定と並行して、「湖南省人口ビジョン（仮称）」と「湖南省まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）」を策定中であり、これらが相互に連携し、一体性・整合性を確保することが重要です。

第2次湖南省総合計画：湖南省の最上位計画。まちづくりの基本理念や将来像や基本的な施策を示す。

連携し一体性・整合性を確保

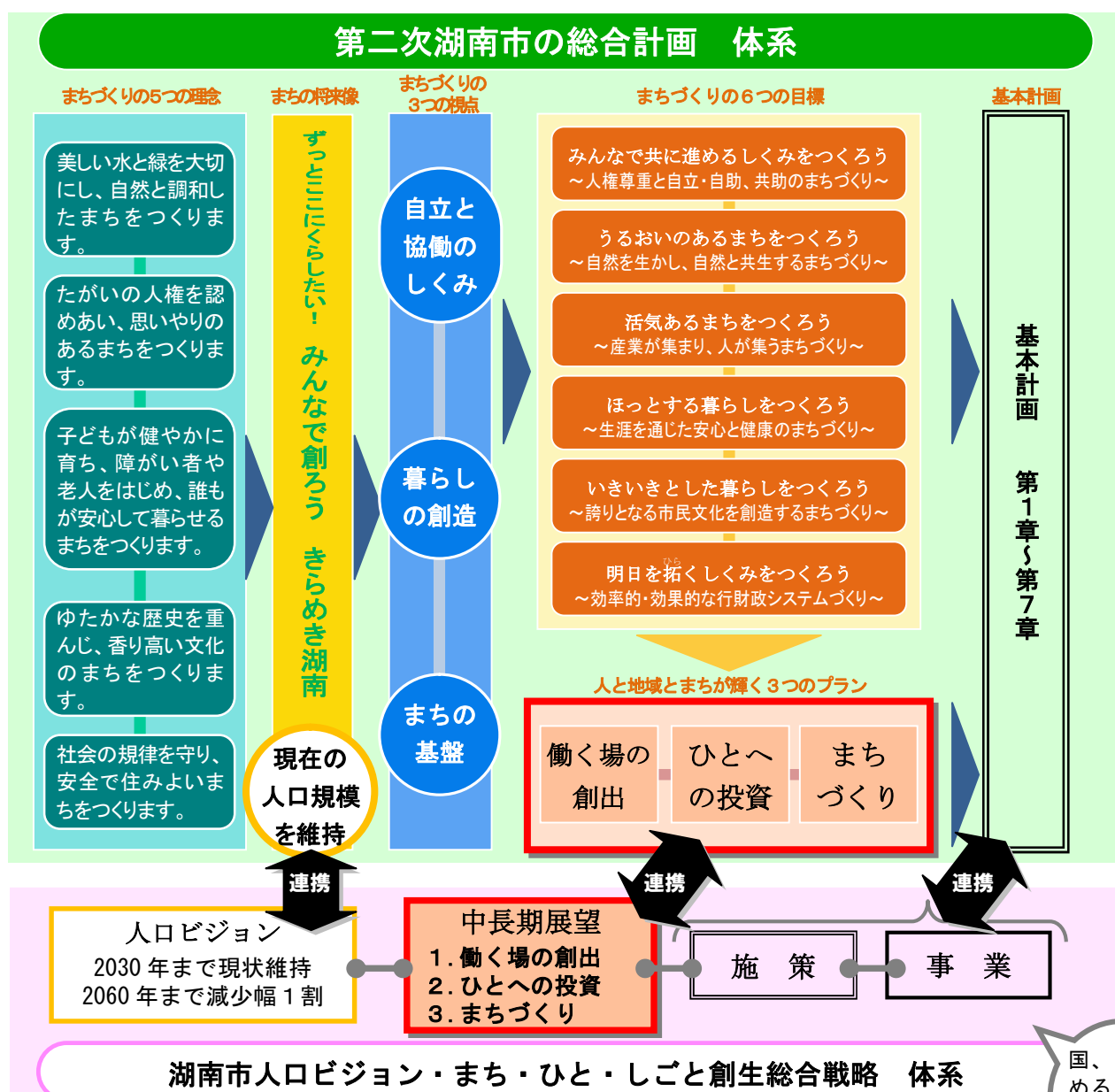
人口ビジョン

中長期を見据えた人口の将来展望

まち・ひと・しごと創生総合戦略

今後5年間の人口減少対策に関する戦略（重点的に取り組む施策）

このため、基本構想第Ⅱ部第5章「人と地域とまちが輝く3つのプラン」の内容を見直し、「湖南省まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）」と一致させています。

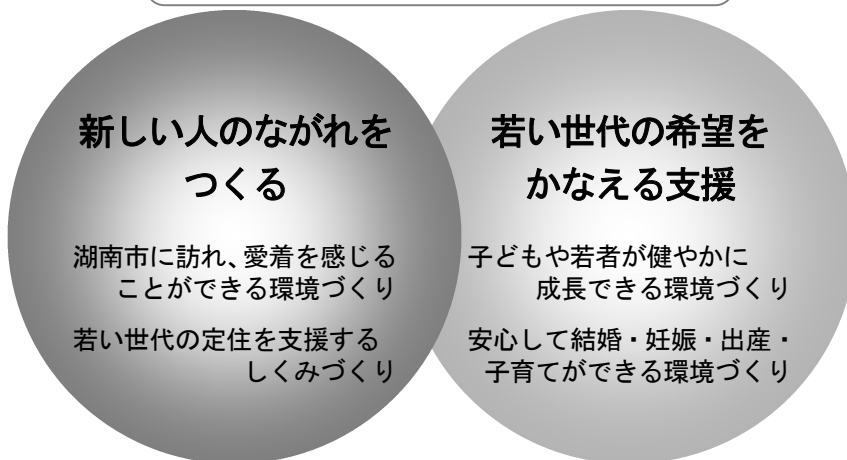


【人と地域とまちが輝く3つのプラン】

働く場の創出



人への投資



まちづくり

